

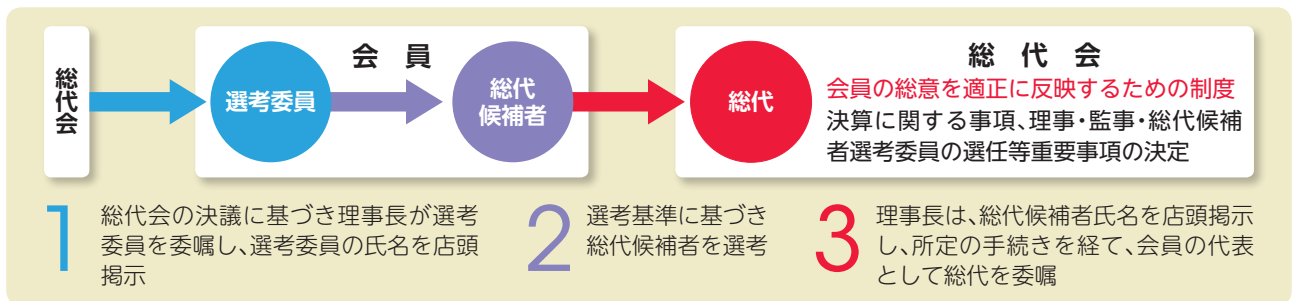
## 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、全会員が参加しての総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

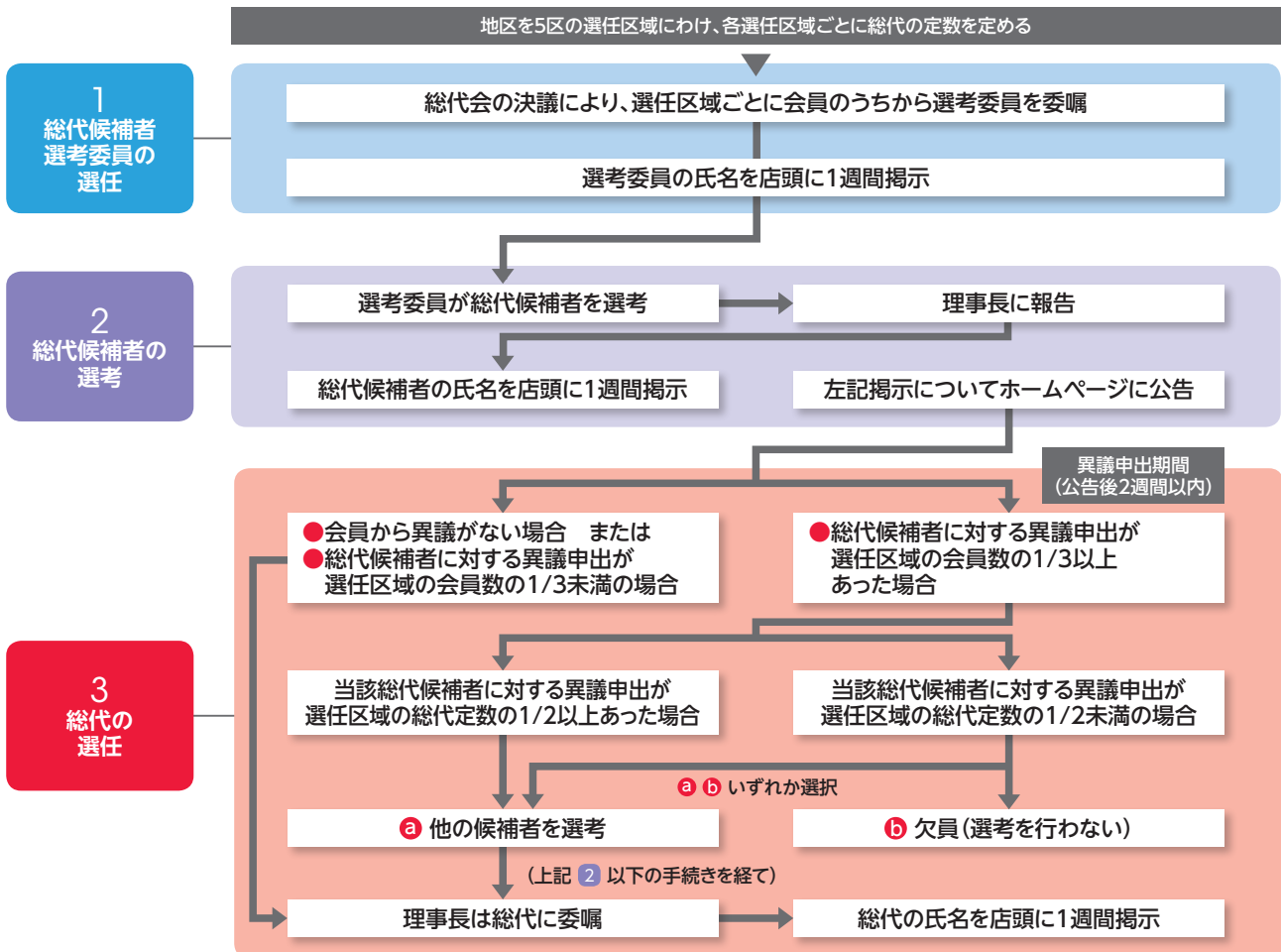
この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事・総代候補者選考委員の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、商工オーナーズクラブ、商工ひまわりの会等の親睦会を通じ、また日常の業務活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にしております。さらに、ご意見、ご要望等について支店窓口やホームページにて承っております。

### ■ 総代会の仕組み



### ■ 総代が選任されるまでの手続きについて



# を大切にする協同組織金融機関です。

## 総代とその選任方法

### 1. 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
  - 総代の定数は、80人以上120人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、令和5年3月31日現在の総代数は94名で、会員数は19,261名です。

### 2. 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準<sup>(注)</sup>に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(注) 総代候補者選考基準

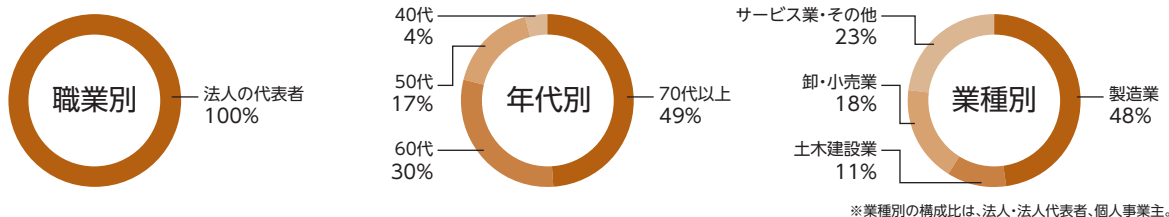
- ① 資格要件 / ・当金庫の会員であること
- ② 適格要件 / ・地域における信望が厚く、総代として相応しい見識を有している人 ・人格、見識に秀れ、当金庫の発展に寄与できる人 ・金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人 ・良識をもって正しい判断ができる人

### ■ 総代名簿 令和5年3月31日現在

※氏名の後の数字は総代への就任回数

地区	選任区域	定数	総代氏名
第一区	中央区、北区、福島区、都島区、旭区、東淀川区、淀川区、大東市、門真市、守口市、寝屋川市、吹田市、豊中市、池田市、箕面市、茨木市、摂津市、高槻市、枚方市、交野市	22	生田 啓祐 <sup>⑦</sup> 、上山 祐平 <sup>②</sup> 、大野 隆敏 <sup>③</sup> 、大久保 尚容 <sup>①</sup> 、北口 道雄 <sup>⑩</sup> 、木下 英司 <sup>③</sup> 、木村 武良 <sup>③</sup> 、佐々木 基之 <sup>③</sup> 、芝原 勲 <sup>①</sup> 、田邊 幸至 <sup>⑤</sup> 、玉村 光 <sup>⑪</sup> 、堤野 展州 <sup>①</sup> 、徳永 隆司 <sup>⑨</sup> 、中野 雅司 <sup>①</sup> 、松岡 晶 <sup>②</sup> 、宮本 展秀 <sup>②</sup> 、柳川 正一 <sup>③</sup> 、山内 進 <sup>③</sup> 、山本 肇 <sup>①</sup> 、吉村 成孝 <sup>③</sup>
第二区	阿倍野区、住吉区、西成区、天王寺区、住之江区、東住吉区、堺市、富田林市、大阪狭山市、高石市、泉大津市、和泉市、岸和田市、泉北郡忠岡町	17	明石 務 <sup>③</sup> 、石田 行男 <sup>④</sup> 、石村 伸人 <sup>⑥</sup> 、栗田 佳直 <sup>⑤</sup> 、重 博文 <sup>③</sup> 、高井 徹 <sup>⑨</sup> 、千原 一成 <sup>③</sup> 、利本 弘昭 <sup>③</sup> 、南城 秀光 <sup>①</sup> 、西上 孔雄 <sup>③</sup> 、橋本 良英 <sup>②</sup> 、原野 鉄雄 <sup>⑥</sup> 、堀内 麻由子 <sup>②</sup> 、堀川 博 <sup>⑤</sup> 、松下 行利 <sup>②</sup> 、與倉 俊六 <sup>⑦</sup>
第三区	東成区、西区、港区、大正区、此花区、浪速区、西淀川区、尼崎市	14	石川 健二 <sup>⑥</sup> 、大西 勲 <sup>②</sup> 、岡山 日出男 <sup>②</sup> 、木下 三郎 <sup>②</sup> 、木下 春雄 <sup>③</sup> 、後谷 親彦 <sup>③</sup> 、坂井 正司 <sup>②</sup> 、下田 義人 <sup>⑥</sup> 、土井 邦夫 <sup>⑩</sup> 、徳山 一男 <sup>⑥</sup> 、十時 理祐 <sup>⑨</sup> 、南海 久次 <sup>①</sup> 、本間 俊治 <sup>⑥</sup> 、森川 純 <sup>④</sup>
第四区	生野区、平野区、八尾市、松原市、藤井寺市、柏原市、羽曳野市	25	浅生 隆一 <sup>⑥</sup> 、大村 民男 <sup>①</sup> 、岡本 吉弘 <sup>③</sup> 、小倉 健宏 <sup>②</sup> 、尾關 宏次郎 <sup>①</sup> 、加藤 慎二 <sup>②</sup> 、岸上 好廣 <sup>③</sup> 、阪井 正 <sup>③</sup> 、崎野 浩一 <sup>②</sup> 、柴田 優 <sup>⑥</sup> 、杉村 嘉宣 <sup>⑥</sup> 、住友 壽 <sup>⑨</sup> 、高橋 利明 <sup>④</sup> 、高森 紀年 <sup>⑦</sup> 、寺内 亮一 <sup>②</sup> 、豊川 欽熙 <sup>③</sup> 、畑 昌興 <sup>③</sup> 、福地 守 <sup>②</sup> 、星川 和胤 <sup>②</sup> 、正木 裕文 <sup>②</sup> 、松村 洋一 <sup>②</sup> 、村田 治郎 <sup>⑨</sup> 、森山 泰之 <sup>⑤</sup> 、吉川 憲司 <sup>⑤</sup> 、吉村 盛善 <sup>③</sup>
第五区	城東区、鶴見区、東大阪市、四條畷市	22	岩佐 嘉昭 <sup>③</sup> 、小嶋 一満 <sup>⑦</sup> 、栗原 弘 <sup>④</sup> 、神藤 進 <sup>③</sup> 、枚田 勤一郎 <sup>②</sup> 、田中 紀久治 <sup>⑥</sup> 、田中 美廣 <sup>⑥</sup> 、谷口 明 <sup>④</sup> 、恒元 直之 <sup>③</sup> 、西田 敏明 <sup>④</sup> 、西村 信義 <sup>③</sup> 、野村 昌一 <sup>④</sup> 、原田 國智 <sup>③</sup> 、福田 俊信 <sup>④</sup> 、藤原 直幸 <sup>⑥</sup> 、前橋 清 <sup>⑥</sup> 、松本 行生 <sup>⑩</sup> 、三木 宏昭 <sup>⑨</sup> 、南 卓治 <sup>②</sup>
合計	全5区	100名	令和5年3月31日現在の総代数94名。会員数は19,261名です。

### ■ 総代の属性別構成比



## 第94期通常総代会 令和5年6月15日開催

第94期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認可決されました。

### 1. 報告事項

1. 第94期(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件
2. 役員等賠償責任保険契約 締結の件

### 2. 決議事項

- 第1号議案 令和4年度剰余金処frac案承認の件
- 第2号議案 理事1名選任の件
- 第3号議案 理事退任に伴う退職慰労金支給の件
- 第4号議案 総代候補者選考委員30名選任の件
- 第5号議案 出資会員除名の件